EziWeigh7
取扱説明書

www.tru-test.com

世界の先端をいく重量計測器

より詳しい情報や Tru-Test グループの高品質な各種製品やブランドについては www.tru-test.com をご参照下さい。

Tru-Test Limited
25 Carbine Road
Mt Wellington
Auckland 1060
New Zealand

Postal address:
P O Box 51078
Pakuranga
Auckland 214
New Zealand

Issue 3 (same as issue 4 EN) 05/2015

内容

ご使用前に

EziWeigh7 について

Tru-Test 社の EziWeigh7 測定器は電子タグを読み込むスティックリーダーと組み合わせることで効率的にデータの入手・管理ができます。*Bluetooth*®を使うワイヤレス接続で、測定器とスティックリーダーの間は 100m まで離れても使用できます。

家畜を一頭ずつ観察・管理できるので、データに基づいた選定や判断を下せます。

EziWeigh7 の特徴:

- VID（視覚識別番号）や EID（電子タグ）により個体のデータを記録。
- 直近の記録と比較し 1 日の体重増加を表示できる。
- 計測中に治療や特質など特記すべき事項をメモとして記すことができる。
- *Bluetooth*® を使って当社のスティックリーダーとワイヤレス接続できる。
- 家畜の重量によって 2 つないしは 3 つのグループに分類し、仕分けの方向を表示することにより、分類がすばやくできる。
- EID-VID を一組に相互リンクしたデータを事前に測定器に転送しておくと、EID がスキャンされると自動的に VID が表示される。
- 現行セッションもしくは過去のセッションのデータを表示できる。
- 見やすい大きめの液晶画面と丈夫なケース。
- USB で PC と接続し、データの転送が可能。
- 計量台に泥や土がついてしまっても、手動でゼロにできる。

各部名称

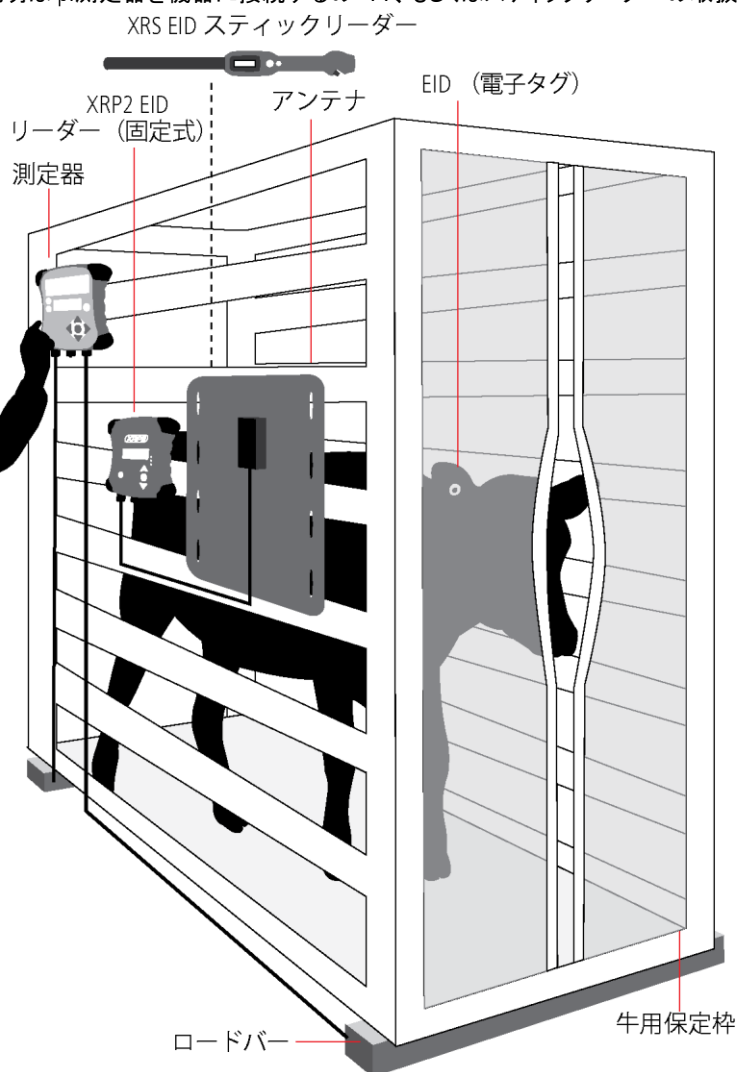
内蔵バッテリーの充電

注記 : 本測定器使用前に内蔵バッテリーを必ず満充電にしてください。

注記 : 5 ℃ 以下で使用される場合、バッテリー表示の残量が正確に表示されないことがあります。

測定器の取り付け

*注記:*家畜による損傷を避けるよう、測定器を取り付け、ケーブルを固定してください。

1　固い平らなところに置いた荷台の下にロードバーを設置する(ロードバーの取扱説明書を参照)。
2　取り付け用のブラケットを平らな表面(木柵やコンクリート)もしくは仕切り用の鉄パイプなどに付け、それに測定器を取り付ける。
3　ロードバー・コネクタのダストキャップを取り外します。測定器にロードバーを接続する。
自動的に Tru-Test 社のロードバーと認識して目盛りを調整する。
4　バッテリー残量が少ない時は、USB ケーブルとアダプタを使い、主電源に接続する。
5　XRP2 パネルリーダーで EID をスキャンする場合は、測定器をパネル・リーダーに接続する(簡単な説明は p.測定器を機器に接続するの 11 を参照するか、もしくは XRP2 パネルリーダーの取扱説明書を参照)。
スティックリーダーで EID をスキャンする場合は、測定器とスティックリーダーの間で通信ができるように *Bluetooth*® のワイヤレス接続を利用する(簡単な説明は p.測定器を機器に接続するの「11、もしくはスティックリーダーの取扱説明書を参照)。

*ヒント:*取り外したダストキャップ同士は重ねて埃や湿気が入らないようにしてください。測定器を使用していない時は常にダストキャップをかぶせるようにしてください。

測定器の基本的な操作手順

データ表示画面

測定中は、データ画面に次のような関連情報が表示されます。

メニューボタン

メニューを見るには(MENU)を押してください。メインメニューには下記が表示されます。

統計データ	現行セッションもしくは前回行われたセッションの記録データを見る。
直前の記録を消去	現行セッションの一番最後の記録を消去する。
セッション	新しいセッションを開始する、現行セッションのデータもしくは記録された前回セッションのデータを見る、ひとつのセッションを消去する、すべてのセッションを消去する。
設定	測定器の設定を変更し、各種機能をオン・オフにする。

メニューを見るにはキーを使用してください。

サブメニューを表示、もしくはオプションを選択するには(ENTER)を押す。
オプションのリストを見るには(^)もしくは(v)を押して、スクロールする。
サブメニューから抜け、次の段階に進むには(ESC)を押す。

データの入力にはキーを使用してください。

英字や数字の入力にはキーを使用する。

英字と数字の切り替えには(123/ABC)を押す。

小数点やピリオドには(・)を押す。

英字で(1)を 1 回押すとコロン(:)、2 回押すとハイフン(-)を表示する。

英字で(0)を押すとスペースがあく。

安定表示ライト

計量対象物が安定すると、赤い安定表示ライトが点灯します。このライトが点灯するまで重量は記録されません。

登録・記録するキー

家畜の重量を登録・記録するには(REC)を押してください。

注記: 自動的に登録されるよう設定されていれば (REC) を押す必要はありません。「(p.21)」を参照。

手動でゼロにするキー

初期設定では、計量台から計量対象物が降ろされた時と電源が入り起動する時に、自動的にゼロになるように設定されています。時に手動でゼロに戻す必要がでてくる場合があります。

手動でゼロに戻すには

(ZERO)を押す。

そうすると表示はゼロを示します。

注記: 自動ゼロ機能をオフにする方法:「(p.21)」を参照。

メモを入力

個体について健康状態など何かを特記したい場合には測定時にメモを入力できます。セッションデータのひとつとしてメモも保存されます。

メモの入力方法:

1　家畜の ID 番号を入力した後に (v)を押す。

2　キーを使ってメモを入力する。

増量分を確認する

以前に同じ家畜のデータが測定され、そのデータが保存されていれば、計測中に 1 日あたりの重量増を表示できます。ID が入力され、計量台上で安定すると、データ画面に増量分が表示されます。この増量分はセッションのデータとして保存されます。

具体的な操作方法

よく使用する 4 つの操作方法は以下のとおりです。

ID 入力無しで重量を測定

いちいち ID 番号や家畜の情報を記録しなくても測定が可能です。すばやく個体のデータを見たり、ダウンロードしたいなら、この機能が便利です。

測定方法

1　新しいセッションにする（ 、 、 そして を押す）。新しいセッションについては「セッションデータを管理する (p.15) 」を参照。
2　家畜を計量台へ動かす。
3　安定表示ライトが点くまで待つ。
4　を押す。
　家畜が計量台を降りると、自動的にゼロに戻る。
5　上記 2-4 の手順を繰り返す。

注意:

- を押す前に家畜が完全に計量台の上に載っているかどうか確認してください。
- 計量台や枠箱の下に土や石などがついていないか確認してください。
- 測定をよりすばやく進めるために測定器を自動に設定できます。そうするとを毎回押す必要はありません。「 (p.21)を参照してください。

測定中もしくは計量後にセッションの記録データを見ることができます。見られるデータは以下のとおり:

- 記録の数
- 重量の平均値
- 総重量
- 重量の最小値と最大値

データを見るには 、 、 、 、 そして を押してください。詳しくは「統計データを見る (p.14) 」を参照してください。

セッションの完了後、記録したセッションのデータを、分析のために PC に転送したり、他と共有したりすることができます。または、Android* スマートフォンのアプリを使用してセッションをメール送信できます。

PC に転送する場合は、まず PC に Data Link をインストールしてください。インストールの方法については「**Data Link のインストール** (p.16) 」を参照してください。

PC へ記録データを転送する方法:

1　USB ケーブルで PC と測定器を接続。
2　Data Link を起動、 をクリックし、「**Next**（次）」をクリックしてファイルを保存。

データの転送については「測定器と PC の間でデータを転送 (p.16) 」を参照してください。

セッションのファイルを e メールで送信、NAIT や NLIS に個体情報を登録:

無料の Android* スマートフォンのアプリ、Tru-Test Data Link を使う。「Android* スマートフォンのアプリを使用 (p. 18) 」を参照してください。

ID 入力と同時に重量を測定する

重量測定同時に ID 番号や家畜についてその他情報を入力できます。

測定方法

1　新しいセッションにする（、、そして を押す）。新しいセッションについては「セッションデータを管理する（p.15）」を参照。
2　家畜を計量台へ動かす。
3　キーで VID 番号（視覚識別番号）を入力するか、EID タグ（電子タグ）をリーダー（読取機）でスキャンする。

4　個体の健康状態など何かメモを記録したい場合には、を押し、キーパッドで入力する。

5　安定表示ライトが点くまで待つ。
6　を押す。
家畜が計量台を降りると、自動的にゼロに戻る。
7　上記 2-6 の手順を繰り返す。

注記:

- ID 番号の入力は任意です。
- 個体に関するメモの入力は任意です。
- VID もしくは EID の番号は家畜が計量台に載る前に入力できます。
- 計測したことのない新しい家畜の場合は VID と EID の番号を同時に入力できます。
- 以前に同じ家畜のデータが測定され、そのデータが保存されていれば、計測中に 1 日あたりの重量増を表示できます。「増量分を確認する（p.5）」を参照してください。
- 重複する ID は、同じセッション内で記録できません。同じ ID が二度記録されると、測定器は古い記録を最も新しい記録に上書きします。

注意:

- を押す前に家畜が完全に計量台の上に載っているかどうか確認してください。
- 計量台や枠箱の下に土や石などがついていないか確認してください。
- 測定をよりすばやく進めるために測定器を自動に設定できます。そうするとを毎回押す必要はありません。「（p.21）を参照してください。
- 新規に家畜を登録する場合、VID 番号が自動的に 1 ずつ増えるよう設定できます。つまり、重量を記録する度に VID 番号（もしくはアルファベット）が 1 ずつ増えるので、いちいち番号を入力しなくてすみます。「（p.20）」を参照してください。
- 事前に Data Link を使って VID と EID の番号がリンクされているファイルを測定器に転送しておくと、EID のタグが読み込まれると VID が表示されます。データの転送については「測定器と PC の間でデータを転送（p.16）」を参照してください。
- 入力の手間を省くために、VID 番号で共通する最初の接頭部分を自動的に表示させるよう機能設定できます。「（p.20）」を参照してください。

測定中もしくは計量後にセッションの記録データを見ることができます。見られるデータは以下のとおり:

- 記録の数
- 重量の平均値
- 総重量
- 重量の最小値と最大値
- 重量の平均値、最小値と最大値（セッションに増量の記録がある場合のみ）。

データを見るには 、、、、 そして を押してください。詳しくは「統計データを見る（p.14）」を参照してください。

セッションの完了後、記録したセッションのデータを、分析のために PC に転送したり、他と共有したりすることができます。または、Android* スマートフォンのアプリを使用してセッションをメール送信できます。

PC にデータを転送する場合は、まず PC に Data Link をインストールしてください。インストールの方法については「**Data Link のインストール**(p.16)」を参照してください。

PC へ記録データを転送する方法:

1　USB ケーブルで PC と測定器を接続。

2　Data Link を起動、をクリックし、「**Next**(次)」をクリックしてファイルを保存。

データの転送については「測定器と PC の間でデータを転送 (p.16)」を参照してください。

セッションのファイルを e メールで送信、NAIT や NLIS に個体情報を登録:

無料の Android* スマートフォンのアプリ、Tru-Test Data Link を使う。「Android* スマートフォンのアプリを使用 (p. 18)」を参照してください。

測定後に重量により家畜を分類する

測定してから重量により分類ができます。分類する重量の幅は自由に設定できます。測定中に、矢印で該当する方向が示されます。分類の設定がオンになっていると、セッションのデータは各分類の頭数を示します。重量幅を含む分類の設定は「 (p.19)」を参照してください。

重量による分類の方法：

1 分類の設定をオンにする（**設定**が表示されるまで を繰り返し押し、 、 、そして を押す）。
2 分類する幅の低い数値を設定する（**下限**が表示されるまで を押し、数値を入力後 を押す）。
3 分類する幅の高い数値を設定する（**上限**が表示されるまで を押し、数値を入力後 を押す）。
4 低に分類する方向を設定する（ **低に分類**が表示されるまで を押し、 を繰り返して押す）。
5 中に分類する方向を設定する（ **中に分類**が表示されるまで を押し、 を繰り返して押す）。
6 高に分類する方向を設定する（ **高に分類**が表示されるまで を押し、 を繰り返して押す）。
7 前述のとおり重量を測定し、必要なら ID 番号を入力する。

測定中、画面上にはID番号とともに重量によって仕分けされる方向が表示される

低に分類 - 左方向へ移動　中に分類 - 直進方向へ移動　高に分類 - 右方向へ移動

測定中もしくは計量後にセッションの記録データを見ることができます。見られるデータは以下のとおり：

- 記録の数
- 重量の平均値
- 総重量
- 重量の最小値と最大値
- 重量の平均値、最小値と最大値（セッションに増量の記録がある場合のみ）。
- 低、中、高の各重量幅の頭数

データを見るには 、 、 、 、 そして を押してください。詳しくは「統計データを見る（p.14）」を参照してください。

セッションの完了後、記録したセッションのデータを、分析のために PC に転送したり、他と共有したりすることができます。または、Android* スマートフォンのアプリを使用してセッションをメール送信できます。

PC にデータを転送する場合は、まず PC に Data Link をインストールしてください。インストールの方法については「**Data Link のインストール**（p.16）」を参照してください。

PC へ記録データを転送する方法：

1 USB ケーブルで PC と測定器を接続。
2 Data Link を起動、 をクリックし、「**Next**（次）」をクリックしてファイルを保存。

データの転送については「測定器と PC の間でデータを転送 (p.16)」を参照してください。

セッションのファイルを e メールで送信、NAIT や NLIS に個体情報を登録：

無料の Android* スマートフォンのアプリ、Tru-Test Data Link を使う。「Android* スマートフォンのアプリを使用 (p. 18)」を参照してください。

---

*注記：*分類の方向はセッションデータに記録されます。

新しい家畜に重量測定なしで ID 番号を登録

スキャン時に EID タグを装着し、VID 番号を入力できます。測定器からロードバーを外せば、安定表示ライトの点灯を待たずにすみ、ID 番号を入力してすぐに(REC)を押せるようになります。EID 、VID もしくは両方を個体ごとに登録できます。個体ごとに(REC) を押してください。

重量を測定しないでタグ付けする方法：

1 ロードバーのコネクタを外す。

2 新しいセッションにする（▽、▽、ENTER そして ENTER を押す）。新しいセッションについては「セッションデータを管理する（p.15）」を参照。

3 キーで VID の番号を入力し、EID タグをリーダー（読取機）でスキャンする。

4 個体の健康状態など何かメモを記録したい場合には、▽を押し、キーパッドで入力する。

5 (REC)を押す。

6 上記 3-5 の手順を繰り返す。

*注記：*個体に関するメモの入力は任意です。

参考：

- 新規に家畜を登録する場合、VID 番号が自動的に 1 ずつ増えるよう設定できます。つまり、重量を記録する度に VID 番号（もしくはアルファベット）が 1 ずつ増えるので、いちいち番号を入力しなくてすみます。「（p.20）」を参照してください。
- 入力の手間を省くために、VID 番号で共通する最初の接頭部分を自動的に表示させるよう機能設定できます。「（p.20）」を参照してください。

測定器を機器に接続する

EziWeigh7 測定器は以下のような機器に接続し、さまざまな用途に利用できます：接続できる機器：

- *Bluetooth*®のワイヤレス接続経由で電子タグを読取る当社のスティックリーダーもしくは他ブランドのスティックリーダーを接続。
- 重量測定用の当社のロードバーもしくは他ブランドのロードバーを接続。
- データ転送用に PC に接続。PC から測定器に ID 番号のデータを転送もしくは測定器の記録を PC に転送できる。
- 電子タグ読取り用に当社の XRP2 パネルリーダーもしくは他ブランドのパネルリーダーを接続。

以下に説明する情報の概略は当社 Tru-Test 社の製品に接続する場合にのみ適用されるものです。詳しい接続方法は、各製品の取扱説明書を参照してください。接続に問題のある場合は、「トラブルシューティング /よくある質問よくある質問 2425)」を参照してください。

Bluetooth® ワイヤレス接続を経由してスティックリーダーを接続する

測定器と当社もしくは他ブランドのスティックリーダー、XRP2 パネルリーダーの間を *Bluetooth* ワイヤレスで接続するには、接続する搭載機器を特定する必要があります。以下の説明は、特に当社 Tru-Test の XRS スティックリーダーを接続させる場合です。*Bluetooth* 搭載の他ブランドを接続させる場合は、該当製品の取扱説明書を参照してください。

注記：

- 機器を接続させる前に、スティックリーダーの BLUETOOTH® を AUTO（自動、液晶画面上には「BT AUTO」と表示）に設定してください。接続前に設定しない場合は、リードボタンとスクロールボタンを押し続けるとスティックリーダーの設定ができる画面になります。設定のオプションを見るにはスクロールボタンを繰り返し押してください。BLUETOOTH® が選択されたら BLUETOOTH® (AUTO)が表示されるまでリードボタンを繰り返し押してください。
- BLUETOOTH®で機器を接続する場合、測定器はスティックリーダーよりも前にスイッチをオンにしていなければなりません。

スティックリーダーとワイヤレス接続する方法：

1. スティックリーダーと測定器が電波の届く範囲内に置かれ、スティックリーダーのスイッチがオフであることを確認する。
2. ⏻を押してスイッチを入れる。
3. リードボタンを押す。
   スティックリーダーの画面上で丸いマークが回っているのは *Bluetooth* 搭載機器を探している表示。
4. 1 分ほどで接続完了。
   以下のような稲妻のようなマークが現れ、青い LED が点灯し、小さな矢印が測定器の重量表示画面の右上に表示されるとワイヤレスが接続されたことを意味します。「各部名称 (p.各部名称)」にある *1*®ワイヤレス接続のマークを参照)

   いったん測定器とスティックリーダーのワイヤレス接続が完了すると、次からは自動的に接続されます。

トラブルシューティング

- スティックリーダーが自動的に違う *Bluetooth* 搭載機器に接続してしまう場合は、その機器のスイッチをオフにし、もう一度やり直してください。
- *Bluetooth* 搭載機器が付近に多数あると、接続がうまくいかないことがあります。スティックリーダーは搭載機器を 10 点まで検知できますが、その後は接続先の検索を中止します。
- *Bluetooth* 搭載の電子タグ読取機が当社製ではない場合、*Bluetooth* のマスターとして機能するものでなければなりません。測定器はスレーブ機器としてのみ接続可能です。

接続をテストする

1. スティックリーダーと測定器が電波の届く範囲内に置かれ、スティックリーダーのスイッチがオフであることを確認する。
2. ⏻を押してスイッチを入れる。
3. リードボタンを押す。
   数秒で稲妻のようなマークが現れ、青い LED が点灯し、小さな矢印が測定器の重量表示画面の右上に表示されるとワイヤレスが接続されたことを意味する。
4. EID タグをスティックリーダーでスキャンする（タグをスキャンするときにリードボタンを押してから放す）。
   EID 番号が測定器のデータ表示画面に表示される。

ロードバー・ケーブルもしくはロードバー・アダプタを使って測定器とロードバーを接続する

測定器と同社製ロードバーに付属のケーブルを使って接続できます。他ブランドのロードバーも直接もしくはロードバー・アダプタを使って接続できます。

測定器にロードバーを接続する方法：

ロードバー・ケーブルを測定器のロードバー・コネクタに差し込み、ケーブルのもう一方の端をロードバーに差し込む。

すべてのケーブルがきちんと差し込まれているか確認する。

USB ケーブルで PC と測定器を接続

EziWeigh7 に付属の USB ケーブルを使って PC と測定器を接続できます。

測定器を PC につなぐ前に、付属のソフトウェア Data Link をインストールしてください。インストールの方法については「**Data Link のインストール**(p.16)」を参照してください。

1　USB ケーブルを使って測定器と PC を接続する。ケーブルの端を本器の電源・通信用のネジ式コネクタにしっかり固定する。ケーブルの端を PC の USB ポートに差し込む。

2　PC のデスクトップにある Data Link のショートカットをダブルクリックし、アプリケーションを起動させる。
うまく接続されると、「**USB connected**（USB 接続）」が表示され、Data Link では画面ウインドウの左下の角に「**Connected to EziWeigh7**（EziWeigh7 接続）」の表示が出る。通信用ケーブルを使って測定器を XRP パネルリーダーに接続する。

Bluetooth® ワイヤレス接続を経由して測定器を XRP2 パネルリーダーに接続する。

測定器と XRP2 パネルリーダーを接続するには、この 2 つを搭載機器として特定する必要があります。

注記 : 測定器をワイヤレスで XRP2 パネルリーダーに接続する場合は、パネルリーダーよりも先に測定器の電源をオンにしてください。

1 両方の電源をオフにしたまま、パネルリーダーから 5 メートル以内に測定器を置く。
2 測定器に電源を入れる。
3 パネルリーダーを電源につなぐ(コンセントもしくはバッテリー)。
 お互いに特定されるまで、1 分間ほど待ちます。青い LED が点灯し、小さな矢印が測定器の重量表示画面の右上に表示されるとワイヤレスが接続されたことを意味します。「各部名称 (*p. 各部名称*)」にある *1*®ワイヤレス接続のマークを参照)
4 接続しているかどうか確かめるにはパネルリーダーで電子タグをスキャンしてみてください。EID 番号が測定器のデータ表示画面に表示される。

DB9 シリアルケーブルを使って他ブランドの電子タグ読取機を接続することができます。

DB9 シリアルケーブルは別売りになっています(Tru-Test 商品番号 818324)。

DB9 シリアルケーブルを測定器の電源・通信用コネクタに差し込み、もう一方の端を電子タグ読取機につなぐ。

すべてのケーブルがきちんと差し込まれているか確認する。

スティックリーダーのシリアルケーブルを使って測定器と EID スティックリーダーを接続する

スティックリーダーのシリアルケーブルは別売りとなっています(Tru-Test 商品番号 819630)。

スティックリーダーのシリアルケーブルを電源・通信用コネクタに差し込み、もう一方の端をスティックリーダーにつなぐ。

すべてのケーブルがきちんと差し込まれているか確認する。

統計データを見る

現行セッションもしくは前回行われたセッションの記録データを見ることができます。

現行セッションの統計データを見る方法：

1　を押し、MENU を押して ENTER **統計データ**を表示する。
2　を押す。ENTER
3　現行セッションのデータを見るには矢印を使ってスクロールする。

前回行われたセッションのデータを見る方法：

1　MENU、∨、∨を押し、**セッション**を表示する。ENTERを押し、∨を押して**統計データ**を表示する。
2　ENTERを押す。
3　矢印を使ってセッションのリストをスクロールする。
4　セッションを選択してENTERを押す。
5　選んだセッションのデータを見るには矢印を使ってスクロールする。

見られる統計データ：

数量	そのセッションで記録されている数
平均値	そのセッションに記録されている平均重量 *注記：*測定重量のない記録では平均値の計算はされません。
合計	そのセッションに記録されている重量合計
最小値	そのセッションで記録されている最小値
最大値	そのセッションで記録されている最大値
増量平均値	そのセッションで計測された増量の平均値（セッションに増量の記録がある場合のみ）。
増量最小値	そのセッションで計測された増量の最小値（セッションに増量の記録がある場合のみ）。
増量最大値	そのセッションで計測された増量の最大値（セッションに増量の記録がある場合のみ）。
低に分類の数量	低に分類されている家畜の頭数（ただし分類が可能な場合のみ）
中に分類の数量	中に分類されている家畜の頭数（ただし分類が可能な場合のみ）
高に分類の数量	高に分類されている家畜の頭数（ただし分類が可能な場合のみ）

*注記：*分類の統計データは現行のセッションでのみ見ることができます。

セッションデータを管理する

測定器にはセッションごとにデータが記録されています。測定を開始するごとに新しいセッションとして記録することをお勧めします。測定器は 100 セッションまで保存できます。

セッションデータを管理するにはセッションのメニューへ移動してください(、、を押してセッション**を表示し**を押します)

新セッション開始	セッションが開始されると開始日の日付を含むセッション名が自動的に付けられます。セッションデータを PC に転送すると、Data Link が各ファイルに連続する番号を付けます(例:セッション 1 が一番古いもの)。従って 1 日に 1 つ以上のセッションを行う場合でも、簡単に特定できます。 新しいセッションを始める方法: を押す。 「**開始**」のメッセージが表示される。
統計データ	特定のセッションの統計データを見ることができます。詳しくは「統計データを見る (p.14)」を参照してください。 特定のセッションのデータを見る方法: 1 を押す。 2 を押す。 3 矢印を使ってセッションのリストをスクロールする。 4 セッションを選択してを押す。 5 選んだセッションのデータを見るには矢印を使ってスクロールする。
一番古いもの消去	記録されている一番古いセッションを消す方法: 1 を押し、「**一番古いもの消去**」が表示されるまでを押す。 2 を押す。 *注記:*ID 番号のデータは残ります。
全セッション消去	全てのセッションの記録を消す方法: 1 、、を押し、「**全セッション消去**」を表示する。 2 を押す。 *注記:*ID 番号のデータは残ります。
全データをクリア	このオプションでは測定器に記録されている、ID 番号を含むすべてのデータを消去します。Data Link 内で消去するのと同じプロセスになります。「Data Link を使って測定器にあるすべてのデータを消去する (p.18)」を参照してください。

データの消去

測定中に間違った場合で、その記録をすぐに消去したい場合、セッションのメニュー戻る必要はありません。一番最後に記録されているデータ(直前に測定したデータ)を以下の方法で消去できます。

セッションの一番最後(直前)の記録を消す方法:

1 を押す。

2 を押して「**直前の記録を消去**」を表示する。

3 を押す。

測定器と PC の間でデータを転送

付属の USB メモリ/CD に入っている Data Link ソフトウェアを使って記録データを測定器から PC へ転送できます。

Data Link のインストール

*注記:*Data Link をインストールし終わるまで測定器を PC に接続しないでください。

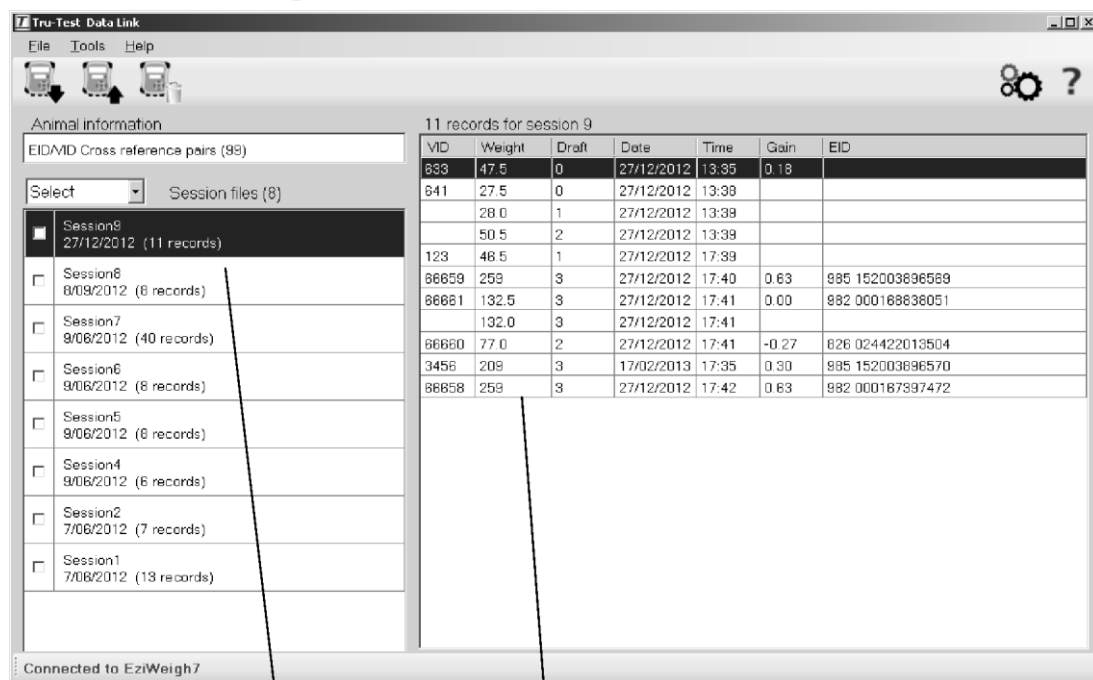
Data Link のインストール:

USB ポートに USB メモリを挿入、もしくは PC の CD ドライブに CD を挿入し、指示に従ってください。

Data Link の使用方法

*ご利用前に:*Data Link を PC にインストールするまで、測定器を PC に接続しないでください。

Data Link の使用方法:

1 測定器と PC を接続し、アプリケーションを起動する「USB ケーブルで PC と測定器を接続 (p.12) 」を参照してください。
2 測定器が PC に接続されるまで待つ(時間がかかる場合もある)
3 メニューのオプションのいずれかをクリック:

ID 番号のデータを PC から転送する

EID(電子タグ)やそれにリンクするVID(視覚識別番号)を含むデータファイルはData Linkを使って事前に測定器に転送できます。このEID-VIDリンクの相互対応ファイルを転送しておけば、電子タグを読取るときにVIDがデータ表示画面に表示されます。EIDは小さな数字でそのすぐ上に表示されます。

EID-VIDの一組で15,000 まで転送できます。この相互対応のファイルは下記のフォーマットで作成されなければなりません。

- ファイルは拡張子が.csv もしくは.xls、.xlsx のフォーマットでなければなりません。フィールドが コンマで区切られている限り、拡張子が.txt のファイルも利用できます(拡張子.csv のファイルでは必須)。
- フィールドが コンマで区切られている限り、拡張子が.txt のファイルも利用できます(拡張子.csv のファイルでは必須)。

- ファイルにはひとつの列に VID、もうひとつには EID のデータと、これら 2 列のデータだけが含まれていなければなりません。VID は最初の列に、EID は 2 列目に入れるか、もしくは逆に挿入も可能。
- ヘッダーの行はオプションとして挿入可能。
- ファイルにはアルファベットと数字のみを挿入。] ( ) { }, ; ` ~ ^ \ #などは挿入しない。
- VID が 16 文字かそれ以上なら、数字のみの下何桁かだけを使用することができます。例えば相互対応の VID が 12345678XBX00047 がなら下五桁の 00047 だけをデータとして転送します。これにより、電子タグデータのファイルを利用できるようになります。
- EID-VID 対応ファイルに使用される EID のフォーマットには次の 3 種類があります。
  スタンダード(例:826　000000123456)、スペース無し(例:826000000123456)、16 進数(例: 8000F58000000001)。

相互対応ファイルの例:

	A	B
1	123	826 000000123456
2	456	826 000000987654
3	345	826 000000123457

VIDが1列目、EIDが2列目、ヘッダー無し。

	A	B
1	**EID**	**VID**
2	826 000000123456	123
3	826 000000987654	456
4	826 000000123457	345

EID が 1 列目、VID が 2 列目、1 行目にヘッダーあり。

*注意！*Data Link をインストールし終わるまで測定器を PC に接続しないでください。インストールするには、USB ポートに USB メモリを挿入、もしくは PC の CD ドライブに CD を挿入し、指示に従ってください。Data Link は測定器が必要なドライバを含んでいます。Data Link をインストールしないで測定器を接続してしまった場合は、測定器を取り外し、Windows のウィザードが起動したらキャンセルしてください。

PC から相互対応ファイルを転送する方法:

1　測定器を PC に接続し、Data Link を起動する。「USB ケーブルで PC と測定器を接続 (p.12)」を参照してください。
2　Data Link のウインドウではをクリック。
3　「**Cross reference file** (相互対応ファイル)」を選択し、「**Next**(次)」をクリック
4　EID-VID 相互リンクを含むファイルを探す。ファイルを選択し、「**Open**(開く)」をクリック。
　ID 番号のデータがうまく転送されると確認のダイアログボックスが表示される。
5　USB ケーブルを外す。

注記:
- 相互対応ファイルが.csv フォーマットでない場合、上記 3 の手順で探しているときに **Files of Type** にあるドロップダウンの矢印をクリックし、**All Files** を選んでください。これで.xls などの異なるフォーマットを選べるようになります。
- 使用前に測定器は PC から取り外さなければなりません。

記録データを PC へ転送する

付属の USB メモリ/CD に入っている Data Link を使って記録データを測定器から PC へ転送できます。マイクロソフトの Excel(エクセル)などのアプリケーションを使ってデータを見たり、操作することもできます。

*注意！*Data Link をインストールし終わるまで測定器を PC に接続しないでください。インストールするには、USB ポートに USB メモリを挿入、もしくは PC の CD ドライブに CD を挿入し、指示に従ってください。Data Link は測定器が必要なドライバを含んでいます。Data Link をインストールしないで測定器を接続してしまった場合は、測定器を取り外し、Windows のウィザードが起動したらキャンセルしてください。

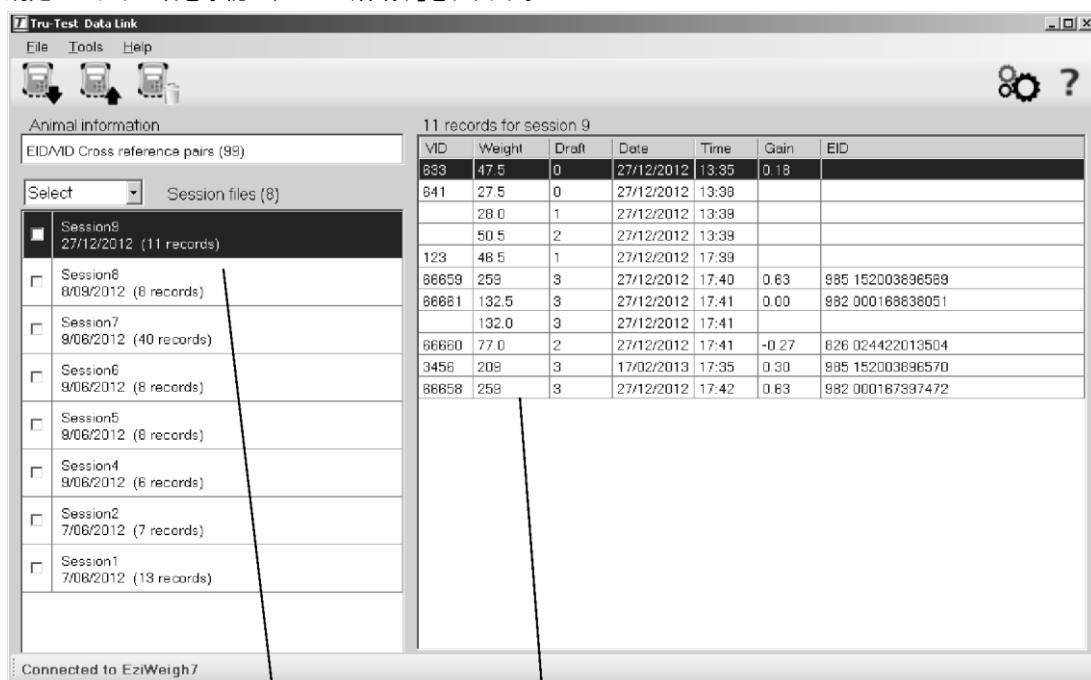
PC へ記録データを転送する方法:

1　測定器を PC に接続し、Data Link を起動する。「USB ケーブルで PC と測定器を接続 (p.12)」を参照してください。

Data Link はメインウインドウで全てのセッションのデータを表示する。

2　左側に表示されたセッションの中から PC へ転送したいセッションを選択。

3　をクリックして「**Save selected sessions as files on the PC**（PC に選択したセッションをファイルとして保存）」を選択。「Next（次）」をクリック。

4　既定のファイル名を承認し、「**Save**（保存）」をクリック。

Data Link を使って測定器にあるすべてのデータを消去する

Data Link を使って測定器にある特定のセッションやすべてのデータを消去することができます。

測定器からデータを削除:

1　測定器を PC に接続し、Data Link を起動する。「USB ケーブルで PC と測定器を接続 (p.12)」を参照してください。

2　Data Link のウインドウでは をクリック。

3　「**Selected sessions**（特定のセッションを選択）」を選ぶか「**All information on device**（すべてのセッションと相互対応データ」を選択。「**Next**（次）」をクリック。

注意を促す再確認のダイアログボックスが表示される。「**Yes**」をクリック。

データが消去されたことを確認するダイアログボックスが表示される。

ヒント: Data Link 内で消去するのと同じプロセスになります。「セッションデータを管理する (p.15)」を参照してください。

Android* スマートフォンのアプリを使用

Tru-Test Data Link アプリを Google Play*から無料でダウンロードできます。

このアプリを利用すればセッションのファイルを e メールで送信したり、NAIT や NLIS といった組織に個体情報の登録ができるようになります。

Tru-Test Data Link アプリの使用方法はウェブサイト www.tru-test.com で見ることができます。

設定

計測の仕方や環境の状況に合わせて設定を変えることができます。「設定」のメニューから変更してください。設定のメニューに移動するには(MENU)を押してから **Setups**（設定）が表示されるまで ∨ を繰り返し押す。

サブメニューを表示、もしくはオプションを選択するには ENTER を押す。

サブメニューから抜け、次の段階に進むには ESC を押す。

家畜の分類

家畜の重量によって 2 つないしは 3 つのグループに分類することができます。測定中に重量幅に合わせて測定器が家畜の分類を表示し、分類する方向を示します。

分類には上限・下限の 2 つの設定があります。この上限・下限がグループを分ける境界になります。

高に分類された家畜の移動方向 (◀ ▲ ▶)

上限（重量）

中に分類された家畜の移動方向 (◀ ▲ ▶)

下限（重量）

低に分類された家畜の移動方向 (◀ ▲ ▶)

2 つに分類する場合には、上限・下限のうちのひとつに境界とする重量を入力し、他方はゼロにしておきます。例えば、300kg 以下を一方に、それ以上を他方に分類する場合は、下限を 0kg に設定し、上限を 300kg に設定します。

高に分類された家畜の移動方向 (▶) 300 kg 以上 ▶

上限 (300 kg)

中に分類された家畜の移動方向 (▲) つに分類するので不要！ ▲

下限 (0 kg)

低に分類された家畜の移動方向 (◀) 300 kg 以下 ◀

3 つに分類する場合には、上限・下限の両方に境界とする重量を入力します。0-250kg、250-300kg、300kg 以上、で分ける場合は、下限 250 kg、上限に 300 kg を入力します。

高に分類された家畜の移動方向 (▶) 300 kg 以上 ▶

上限 (300 kg)

中に分類された家畜の移動方向 (▲) 250-300 kg ▲

下限 (250 kg)

低に分類された家畜の移動方向 (◀) 250 kg 以下 ◀

説明	オプション
	分類（オフ）*
重量によってグループ分けを可能にする。	分類（ ID 番号無し）
重量によってグループ分けを可能にする。	分類（ ID 番号あり）
キーを使って数字を入力する。	下限
キーを使って数字を入力する。	上限
低に分類された家畜が移動する方向	低に分類
低に分類された家畜が移動する方向	中に分類
中に分類された家畜が移動する方向	高に分類
このオプションは「分類（ID 番号あり）」がオンになっている場合のみ利用でき、測定器が Auto Drafter（現時点で機能付加されていない）とともに使用されている場合にのみ関連します。ID が入力されなければ、家畜はリリースされません。	EID 無で移動（オフ）
このオプションは「分類（ID 番号あり）」がオンになっている場合のみ利用でき、測定器が Auto Drafter（現時点で機能付加されていない）とともに使用されている場合にのみ関連します。ID が入力されなくても一定の時間が経過すると、家畜は自動的にリリースされます。この識別時間の長さは「EID 無識別時間」のところで設定できます。	EID 無で移動（オン）
このオプションは「EID 無で移動（オン）」に設定されている場合にのみ有効です。 ID 番号入力にかかる所要時間を入力してください。もしこの時間内に ID 番号が入力されないと、家畜は自動的にリリースされます。	EID 無識別時間

VID の接頭共通番号

説明	オプション
入力の手間を省くために、VID 番号で共通する最初の接頭部分を自動的に表示させるよう機能設定できます。例えば、AU476329 という VID 番号で 329 の下三桁だけが家畜個別の番号となる場合、共通の AU476 を接頭共通番号に設定できます。計測時に個別の番号を入力する際は、共通部分の AU476 が自動的に付け加えられます。 接頭共通番号の機能をオンにし、キーを使って共通部分を入力します。 *注記:* 接頭共通番号は数字、英字、スペースのどの組み合わせでも利用できます。コロンやハイフン、小数点も利用できます。	接頭共通番号（オフ）* 接頭共通番号（オン）

VID 番号自動表示

説明	オプション
新しい個体へのタグ付けや重量計測の時間を節約するために、VID 番号を自動的に 1 ずつ増えるよう設定することができます。つまり、重量を記録する度に VID 番号（もしくはアルファベット）が 1 ずつ増えるので、いちいち番号を入力しなくてすみます。例えば、耳付けのタグが番号順に並んでいる場合、計測とタグ付けごとに、自動的に次の番号が順番に表示されるよう設定できます。家畜が計量台に載るとすぐに測定器は次の VID 番号を表示するようになっています。	番号自動表示（オフ）* 番号自動表示（オン）*

メモの内容を繰り返す

説明	オプション
個体について健康状態などメモの内容をセッションの中で繰り返したい場合、この機能をオンにできます。メモ入力後は、自動的に同じ内容が次の個体にも続いて表示されます。ただし、異なる内容のメモを入力すれば、上書きされます。例えば、すべての個体に薬を投与したい場合などにその内容のメモを繰り返すことができます。	メモをリピート（オフ）* メモをリピート（オン）

最小表示単位

説明	オプション
最小表示単位の幅を変更することができます。 例えば、重量のあるものを計測する場合で数値の細かい正確さを気にしないなら、最小表示単位を 5 kg にしてみます。そうすると 5 kg ごとに一番近い数値を表示し、より速く計測できるようになります。軽量のものを計測する場合、例えば小動物などを測る場合は、より正確さが求められるので、最小表示単位を 0.1 kg にしてみます。そうすると 0.1 kg に一番近い数値を表示します。細かい数値を計測する場合は数値を確定するのに時間を要することがあります。 使用するロードバーのタイプによって設定できる最小表示単位の範囲が異なります。	最小表示単位 0.1 kg
	最小表示単位 0.2 kg
	最小表示単位 0.5* kg
	最小表示単位 1 kg
	最小表示単位 2 kg
	最小表示単位 5 kg

画面の明るさ

説明	オプション
画面の明るさは初期設定で照度は低になっています。周囲の明るさに合わせて、照度を高かオフに変更できます。ただし、画面の明るさはバッテリーの消耗に影響します。照度高よりも照度低にしておくと、バッテリーは 2 倍長持ちします。	画面の明るさ(照度低)*
	画面の明るさ(照度高)
	画面の明るさ(オフ)

自動登録

説明	オプション
測定をすばやく進めるためには、データの登録ごとにRECを押さずにすむ自動登録の機能を利用できます。さらに EID リーダー(読取機)が付けられている場合は、まったく手による操作をせずに登録ができるようになります。自動登録機能の使用は、外的要因にあまり影響されない環境下での重量計測に使用が限られます。 「自動登録(ID 番号無し)」にすると、測定器は ID 番号が入力されなくても登録へ進み、安定表示ライトが点くとすぐにデータが記録されます。 「自動登録(ID 番号あり)」にすると、測定器は ID 番号が入力されてから、安定表示ライトが点灯し、記録します。	自動登録(オフ)*
	自動登録(ID 番号無し)
	自動登録(ID 番号あり)

日付と時間

説明	オプション
測定器で表示される日時は、各セッション実施の日時に適用され記録されます。日付の表示は、西暦年/月/日となっています。時間は時:分となっています。 日付や時間を変更する場合はキーで数字を変えてください。	日付(西暦-月-日)
	時間(時:分)

自動ゼロ機能

説明	オプション
初期設定では、計量台から計量対象物が降ろされた時と電源が入り起動する時に、自動的にゼロになるように設定されています。下記のような場合に同機能をオフにすることができます。 • 梱包した羊毛など、数多くの物品を同時に測定する場合で計量台に載せるのに時間を要する場合。このような場合、一定の時間動作しないと測定器は自動的に電源がオフになるので、再度電源を入れ直さなければなりません。入れ直しても、荷を計測せず表示はゼロに戻ってしまいます。 • 計量台に重量の軽いものを載せる場合。 同機能がオフになっている時に表示をゼロに戻すには、必要なときにZEROを押してください。「手動でゼロにするキー を(p.4)」を参照してください。	自動ゼロ機能(オン)*
	自動ゼロ機能(オフ)*

自動電源オフ	
説明	オプション
自動電源オフの機能がオンになっていると、バッテリー寿命を保つために、15 分動作されないと自動的に電源がオフになるよう初期設定されています。	自動電源オフ（オン）*
	自動電源オフ（オフ）

その場で ID 登録	
説明	オプション
この機能がオンになっていると、安定表示ライトの点灯を待たずにすみ、すぐに㊎を押せるようになります。ID 番号が入力もしくはスキャンされればすぐに登録できます。例えば、トラックに載せる家畜を記録したいときなどに役に立ちます。この場合、家畜が列を成して通り過ぎるときに、EID をスキャンするか、VID を入力します。ただし、この方法では EID か VID のどちらかの登録になり、両方の登録はできません。また、この機能がオンだとメモの入力はできません。 計測したことのない新しい家畜には適していません。「新しい家畜に重量測定なしで ID 番号を登録 (p.10)」を参照してください。	その場で ID 登録（オフ）*
	その場で ID 登録（オン）

制動モード	
説明	オプション
制動モードは重量が安定し測定可能となるのに必要な測定所要時間を調整するものです。牛、羊、えさや青果など測定するものによって、オプションを選べます。	
牛の測定に適した測定所要時間。	制動モード（スーパーダンプ III）牛
羊の測定に適した測定所要時間。	制動モード（スーパーダンプ III）羊
測定所要時間を特定できる。	時間固定
特定の秒数の間隔で測定した重量の平均値が継続して表示されます。青果やえさなど、動かないものを測定するのに適しています。測定所要時間を特定できます。	平均
制動モードで「時間固定」もしくは「平均」を選択した場合に測定所要時間を特定できます。 *注記：*測定時間を特定できるのは、制動モードで「時間固定」もしくは「平均」を選択した場合のみです。	測定所要時間（0.1 s – 10 s）

許容差	
説明	オプション
許容差とは、赤い安定表示ライトが点灯する前に、どれほど正確な数値が必要かを考慮するためのものです。許容差は、最小表示単位と選んだ許容数値を掛けて算出します。（21 ページを参照）計算式では最小表示単位は d の値、つまり、d=最小表示単位となります。たとえば、許容数値に 0.5 d（初期設定）を設定し、最小表示単位を 1 kg にすると、0.5 kg（0.5 × 1 kg）が許容差となります。この場合、家畜の実重量の 0.5 kg の許容差範囲内になると赤い安定表示ライトが点灯します。この許容差を低く設定すると、より正確になりますが、計測に長くかかるようになります。	
許容数値を特定する。	0.1 d、0.25 d、0.5d*、1 d、2 d

言語設定	
説明	オプション
日本語、英語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語、中国語の表示が可能です。	English
	Idioma (Español) = Spanish
	Langue (Français) = French
	Sprache (Deutsch) = German
	Lingua (Português) = Portuguese
	Language (简体中文) = Chinese
	Language (日本) = Japanese

Bluetooth® アドレス（BT）

測定器の *Bluetooth* アドレスが表示されます。これは表示のみで設定や変更はできません。

ソフトウェア版

トラブルを解決するには、ソフトウェアのバージョン（版）を確認する必要があります。

ソフトウェアのアップデート

測定器のソフトウェアをアップデートするには、まず PC に Data Link をインストールする必要があります。インストールの方法については「**Data Link のインストール**（p.16）」を参照してください。

ソフトウェアのアップデートをチェックする

1 測定器を PC に接続し、Data Link を起動する。「USB ケーブルで PC と測定器を接続 （p.12）」を参照してください。
2 **Tools/Updates** をクリック。
3 **Check for updates** をクリック。測定器を PC に接続する度に Data Link が自動的にソフトウェアをアップデートするように設定したいなら、**Check for updates automatically** をオンにしてください。
  そうすると最新バージョンへのアップデートが可能かどうかを知らせるダイアログボックスが表示されます。そのままアップデートするには画面の指示に従ってください。

*注記：*使用前に測定器は PC から取り外さなければなりません。

ファイルからソフトウェアをアップデートする

Tru-Test からソフトウェアのアップデートファイルを入手したら、手動でインストールできます。

1 フォーマットは pew7_vX_XX.bin。この X_XX 部分はソフトウェアのバージョンを示します。
2 測定器を PC に接続し、Data Link を起動する。「USB ケーブルで PC と測定器を接続 （p.12）」を参照してください。
3 **Tools/Updates** をクリック。
4 **Update device firmware from a file** をクリック。
5 .bin が拡張子のファイルの中から最新のソフトウェアを探す。ファイルを選択したら **Open**（開く）をクリック。
  うまくアップデートされると確認のダイアログボックスが表示される。

*注記：*使用前に測定器は PC から取り外さなければなりません。

トラブルシューティング / よくある質問

一般的なトラブル

問題	主な原因と対処法
電源が入らない	重量表示画面のバッテリー表示にて確認、詳しくは「各部名称（ p.1）」をご覧ください。
スイッチをオンにしてもすぐに電源が切れてしまう	
バッテリーの充電ができない	測定器と電源アダプタと PC の接続状態を確かめてください。

計測時のトラブル

問題	主な原因と対処法
計量台から家畜を下ろしてもゼロ表示に戻らない	機器とケーブルの接続状態を確認してください。枠箱や保定枠の固定にチェーンを使用する場合は、計測中でもたるむくらいのゆとりを持たせる必要があります。
計量台の両側で異なる数値が出る	計量台、枠箱や保定枠が通路設備やコンクリートの床と接触しないようにしてください。 このような問題は、ロードバーがずれてしまった時、土や石、汚物などがついてしまった時に生じることがあります。
予想外に低い数値が出る	ロードバーの脚は水平な床面に均等に接していなければなりません。 ゴム製の脚の下に石や汚物が挟まらないように注意して、4 つの脚部すべてがしっかりと床面に接しているか確認してください。 ピンやアンカーによる固定の状態を確かめてください。 ボルト穴がずれていると、ロードバーに余分な荷重がかかる場合があります。 必要に応じて計量台、枠箱や保定枠のボルト穴を拡大して位置合わせをしてください。 ゲートなど、計量台以外の部分に家畜が接触しないよう注意してください。 枠箱や保定枠などの垂直面に接触するだけでも計測値に影響します。
計測が不安定	測定器もしくはロードバーのロードセル・コネクタに湿気がたまっていないか確認してください。
ゼロ表示に時間がかかりすぎる	変性アルコール、エチルアルコール、もしくは接触部分に適したクリーナーでプラグ部分とキャップの水分を拭き取ってください。 作用の強力な溶剤はプラスチックと反応する可能性がありますので、使用しないでください。
過剰荷重	ケーブルに破損がないかどうか確認してください。 ケーブルが破損していたら、修理に出してください。
過少荷重	ロードバーもしくは測定器の内部に湿気がたまっていることが原因となっている可能性も考えられます。 可能であれば、別のロードバーを測定器に接続して動作を確認してください。 どのロードバーに問題があるか特定するために、1 本ずつ試してみてください。 湿気が故障の原因になっていると考えられる場合は、測定器を修理に出してください。
bAd.c, ER 05, Bad code などの表示が出る	接続したロードバー/セルが自動的に測定器にサポートされていないため校正の必要があると考えられます。詳しくは最寄の取扱業者にお問合せください。

接続に関するトラブル

問題	主な原因と対処法
測定器と Tru-Test 製スティックリーダーの *Bluetooth*®によるワイヤレス接続がうまくいかない	• 先に測定器の電源をオンにしてから、スティックリーダーの電源をオンにしてください。 • スティックリーダーの電源を先に入れると、測定器とは別の *Bluetooth* 搭載機器に接続してしまいます。他の装置の電源を切ってから、順序に沿って再度接続を試みてください。 • スティックリーダーが自動的に *Bluetooth* 経由で接続するよう設定されていません。自動的に *Bluetooth* 経由で接続するようスティックリーダーの設定を変更してください。(詳しくはスティックリーダーの取扱説明書をご覧ください) • 測定器とスティックリーダーが離れすぎていないか確認してください。 • *Bluetooth* 搭載機器が付近に多数あると、正しく接続できないことがあります。スティックリーダーは *Bluetooth* 搭載機器を 10 点まで検知できますが、その後は接続先の検索を中止します。測定器とスティックリーダーを手動で接続してください。(詳しくはスティックリーダーの取扱説明書をご覧ください)
測定器と手持ちの装置を *Bluetooth* ®でワイヤレス接続したいがうまくいかない	• ご使用の装置の取扱説明書にて接続方法を確認してください。 • ご使用の装置は *Bluetooth* ネットワーク上でマスター機器として機能できるものでなければなりません。測定器はスレーブ機器としてのみ接続可能です。
手持ちの装置との接続に *Bluetooth* MAC アドレスが必要	測定器の *Bluetooth* MAC アドレスは、設定メニューの画面に表示されます。「(p.23)」を参照してください。
測定器と EID リーダーのシリアル接続がうまくいかない	• ケーブルの接続状態を確認し、ゆるんでいる場合はしっかりと接続しなおしてください。 • 接続部分に腐食や水分がないか確かめてください。 • Tru-Test 製でないリーダー(読取機)を使用している場合は、使用機器の取扱説明書を確認してください。
測定器と PC の USB 接続がうまくいかない	• ケーブルの接続状態を確認し、ゆるんでいる場合はしっかりと接続しなおしてください。 • USB 端子を PC 上の別の接続ポートに挿しなおしてみてください。 • USB ケーブルを外して、測定器の電源を一旦オフにしてからオンにしてみてください。 • Data Link ソフトウェアと USB ドライバを再度インストールしてみてください。

本測定器の取扱いについて

測定器やロードバーを水の中に置いたままにしないでください。涼しく乾いた場所に保管してください。

バッテリー寿命を保つために、15 分動作されないと自動的に電源がオフになるよう初期設定されています。

ぬるま湯と石鹸で湿めらせた布で拭いてください。洗剤等はケースを損傷することがあるので使用しないでください。

極端な温度（例えば、車のダッシュボードなど）になる可能性のある場所に測定器を置いたままにしないでください。

測定器にケーブルが接続されていないときはダストキャップをかぶせ、埃や湿気が入らないようにしてください。

サービスと保証内容

サービスと保証内容についてはウェブサイト www.tru-test.com を参照してください。

仕様

正確度	Tru-Test 社のロードバーを使用した場合、±1 % もしくは最小表示単位で 2 単位（どちらか数値の大きいほう）
電源	5 V DC（電源アダプター）
動作中の気温環境	-10 から+40 °C
保管中の気温環境	-20 から+35 °C
内蔵バッテリーの動作可能時間	2 本のロードバーを接続した場合、20 時間まで
保護特性（防浸）	IP67（1m で 30 分の浸水に耐える）
動物の記録数	15,000 頭まで 50 まで
セッション	100 まで

メニュー項目

統計データ…
数量
平均値
合計
最小値
最大値
低に分類の数量
（分類をオンにした場合のみ）
中に分類の数量
（分類をオンにした場合のみ）
高に分類の数量
（分類をオンにした場合のみ）
別のセッションへ
別のセッション1、日付によるリスト、次に数量によるリストを表示
別のセッション2～など
平均値
合計
最小値
最大値
前の記録を消去...
消去
セッション…
新セッション開始
開始
統計データ…
現行セッション、日付によるリスト、次に数量によるリストを表示
別のセッション1 ～など
平均値
合計
最小値
最大値
一番古いもの消去
消去
全セッション消去
消去
全データをクリア
消去
設定…
（次ページに続く）
サブメニューを表示、もしくはオプションを選択するには ENTER キーを押す（この図では左から右に移動
サブメニューから抜ける、もしくはオプションを選択するには ESC を押す（この図では右から左へ移動）
オプションのリストを見るには や を押してスクロールする。
…サブメニューを表示

設定…
分類…
分類（オフ）*
分類(ID無し)
分類(IDあり)
下限 (x)
[下限の数値を入力]
上限 (x)
[上限の数値を入力]
低に分類 (<)
[分類の方角を入力]
中に分類 (Λ)
[分類の方角を入力]
高に分類 (>)
[分類の方角を入力]
EID無で移動 (いいえ)*
[分類(ID無し) の場合のみ可能]
EID無で移動 (はい)
EID無識別時間
(EID無で移動の場合のみ「はい」に設定可能)
[識別時間の数値を入力]
注意:
• 初期設定の項目には*印。
• 制動モードの初期設定には**印。
時間固定の場合は0.9sに、平均の場合は0.6sに初期設定されている。
接頭共通番号…
（オフ）*
（オン）
（x）
（接頭共通番号を入力）
番号自動表示（オフ）*
番号自動表示（オン）
メモをリピート (オフ)*
メモをリピート (オン)
画面の明るさ（照度低）*
画面の明るさ（照度高）
画面の明るさ（オフ）
最小表示単位 (0.1)
最小表示単位 (0.2)
最小表示単位(0.5)*
最小表示単位 (1)
最小表示単位 (2)
最小表示単位 (5)
自動登録（オフ）*
自動登録 (ID無し)
自動登録(IDあり)
日付（西暦-月-日）
（日付を入力）
時間（時：分）
（日付を入力）
自動ゼロ機能（オン）*
自動ゼロ機能（オフ）
自動電源オフ（オン）*
自動電源オフ（オフ
その場でID登録（オフ）*
その場でID登録（オン）
制動モード（牛）*
制動モード（羊）
制動モード（時間固定）
制動モード（平均）
許容差 (0.1d)
許容差 (0.25d)
許容差 (0.5d)*
許容差 (1d)
許容差 (2d)
測定所要時間 (0.1 s)
（測定時間を指定できるのは、制動モードで「時間固定」もしくは「平均」を選択した場合のみ）
測定所要時間 (0.3 s)
測定所要時間 (0.6 s)**
測定所要時間 (0.9 s)**
測定所要時間 (1.2 s)
測定所要時間 (1.8 s)
測定所要時間
（2.4 s,3 s,4 s もしくは6 s）
ロードバーのタイプ
(Tru-Test)*
ロードバーのタイプ
(Gallagher 2000 kg)
ロードバーのタイプ
(Gallagher HD 3500 kg)
ロードバーのタイプ
(Iconix 2000 kg)
ロードバーのタイプ
(Iconix HD 3000 kg)
ロードバーのタイプ
(Digi-Star 3300 lb)
ロードバーのタイプ
(Digi-star HD 6600 lb)
Language (English)*
Idioma (Español)
Langue (Français)
Sprache (Deutsch)
Lingua (Português)
Language（简体中文）
Language (日本)
BT
ソフトウェア版 (3.31)

索引